

## 3 FE 合格体験記

FE-0409 中嶋正浩

### FE 試験の合格体験記

私の合格体験記は大変格好の悪い内容であることを最初にお断りしておきます。

私が PE 資格の存在を知ったのは、10 年以上前、交換留学先のシドニーでのことでした。当時、海外で学ぶことに漠然と憧れていました。結局は断念するのですが、代わりに PE 資格の取得に向けて取り組むと、少なくとも英語ベースでの工学知識を身につけることができるのではないか？と思ったのです。それで、帰国後に参考書を買いました。でも、恥ずかしながら、そのまま放置していました。

就職後も FE 試験は頭の片隅にありはしたものの、参考書を開くことは滅多にありませんでした。ただ、5 年くらい前のこと、設計から検査の仕事へと異動となってから、少し変化しました。当時、自分は業務を通じて何を成し遂げたかったのかを見失いつつありました。何かの役に立てようと、Lindeburg の問題集を再び開き。休日に少しずつ読むようにしました。一方で、これは、言い訳にしかならないのですが、当時は海外出張や出向、夜勤などあり不規則な日々。結局、時折思い出したように参考書を開くだけで、学習に集中していたとは言い難い状態でした。大きな天気となったのは、2016 年 3 月に社内公募の面接から。過去の設計業務や品証での海外業務経験、マイペースながらも FE 試験対策を通じて学問としての工学に触れ続けてきたのが良かったのでしょうか、開発業務での異動内示を頂くことができました。

試験対策に熱が入ってきたのは、この頃からです。Lindeburg の問題集は買い直し（試験形式が変更されていたため）、何度か通しで解きました。大学時代の参考書やネット検索で大概の事項は理解できました。自信がついたところで、受験。

合格通知。JSPE のサイトに記載されている通り、多数の問題を長時間で解く必要があるため、確かに集中力が必要ではありました。しかし、過去の長い助走を思い起こせば、実にあっけない終わりでした。

最後にこの体験記の執筆を通じて、自らの助走期間と向き合うことになりました。そして、何のために参考書を開くのか？なぜ、その資格を目指すのか？を自分自身で明確にできていなかったのだなと思いました。反省すべき点を反省し、引き続き、PE 試験合格、その後の資格取得、エンジニアとしての活躍を目指していきたいと思っています。